

役員会記録

(平成25年6月20日)

出席者

飯野 佑一、小山 徹也、福田 利夫、柳川 洋子、中野 隆史、大竹 誼長、関口 利和、
都築 靖、山田邦子、
学友会 1人

報告事項

1. 法人のその後の活動について

森川理事長が欠席のため小山副会長から、定時理事会が6月3日、定時評議員会が6月17日(月)に刀城会館において開催された。主な「報告事業」及び「審議事項」について、次のとおり報告があった。

- 1) 平成24年度 事業実績について
- 2) 平成25年度 研究助成金
- 3) 公益目的支出計画実施報告書について
- 4) 平成25年度 事業計画について
- 5) 平成25年度 収支予算案について
- 6) 平成24年度 収支決算と財務諸表について
- 7) 一般財団法人群馬健康医学振興会 講師派遣要項について
- 8) 一般財団法人群馬健康医学振興会 講師派遣要項申し合わせについて

2. 太田館林邑楽郡支部総会について

飯野会長から、5月27日(月)に開催された太田館林邑楽郡支部総会の概要の報告があった。

3. 同窓会・財団メールの移行について

福田広報委員長から、追加資料に基づき部局メールサービスの終了について、前々回に続き詳細な説明の報告があった。

4. その他

小山副会長から、会員の逝去について報告があり、飯野会長より物故会員へ黙祷を捧げた。

外山	登	先生(昭和25年卒)	平成24年	4月14日	逝去
小島原	将保	先生(昭和38年卒)	平成24年	11月	日 逝去
加藤	正臣	先生(昭和38年卒)	平成25年	5月22日	逝去
辻	達彦	先生(名誉会員)	平成25年	5月1日	逝去

審 議 事 項

1. 平成25年度一般会計収支予算書（案）について

柳川会計役員から資料1に基づき詳細な説明による提案があり、審議の結果原案どおり承認された。

2. 学術集会補助金について

小山副会長から、資料2-1、2-2、2-3に基づき、次のとおり提案説明があり、審議の結果、承認された。

資料2-1. 群馬大学大学院医学系研究科麻酔神経科学教授 斎藤 繁 氏から申請のありました「第17回日本医療ガス学会学術集会」に関しまして、申し合わせから、10万円の補助に該当するとした。

資料2-2. 群馬大学大学院医学系研究科泌尿器科学教授 鈴木 和浩 氏から申請のありました「第21回日本がん検診・診断学会学術集会」に関しまして、申し合わせから、10万円の補助に該当するとした。

資料2-3. 群馬大学大学院医学系研究科小児科学教授 荒川 浩一 氏から申請のありました「第8回日本小児耳鼻咽喉科学会学術集会」に関しまして、申し合わせから、20万円の補助に該当するとした。

3. 会報編集状況について

福田会報編集委員長から、資料3（会報231号9月1日発行予定）に基づき提案説明があり、了承された。

4. その他

1) 故矢島 祥子先生（平11卒）の事件について

飯野会長から、電話で祥子先生のお父様に次回役員会への出席を依頼したところ、6月20日（木）は先約があり出席出来ないとのことで、都合の良い日を確認し、6月12日（水）19時から刀城会館役員室で矢島夫妻と飯野会長、小山副会長、成瀬事務長、関口前事務長の4名で対応しました。西成警察署は、自殺と事件の両面から捜査中と言い続け、遺族に向けて定期的に説明会を開くものの内容は三年間全く変わらない。自殺か事故の真相を究明して頂きたい。例えば、CT画像の開示、司法解剖鑑定書の開示、再鑑定を要請したが必要ない。捜査は進展がないそうです。全国犯罪被害者の会（あすの会）に昨年入られ、あすの会の弁護士に相談したところ、国会議員の先生を介して警察、検察庁へ要望書を提出することが有効な手段になる。矢島氏より要望書の作成には、高崎医師会、群馬県医師会、同窓会・刀城クラブにお願いできればとのことであった。要望書のひな形については、弁護士にお願いすることとし

た。今後については、会長、役員にお任せ願いたい。

2) 防災・減災に関する講演会（案）について

飯野会長から、群馬大学工業会（工学部の同窓会）との合同講演会の話は、私が会長に就任して直ぐの頃、工業会の金子理事長との懇談会の席で話題にのぼり、この度、次のとおり講演会（案）が送付されてきました。皆様には、よろしくご協力の程お願い申し上げます。

防災・減災に関する講演会（案）

- 1 日 時 平成25年11月 9日（土）13：30～15：45
- 2 場 所 群馬大学医学部刀城会館（前橋市昭和町3丁目39-22）
- 3 対象者 群馬大学工業会・医学部同窓会刀城クラブ会員並びに一般市民
- 4 趣 旨 群馬大学工業会と医学部同窓会・刀城クラブが第1回として、今一番のある防災・減災をテーマとして、大学、地域等と連携して問題点について情報を共有し、防災・減災を実践する環境を構築する。
我々が、災害時に危険を感じつつも避難をためらう一因として、自己に都合の悪い情報を無視して、自身の行動を正当化しようとする心理的な特性を見直すことにより、今後の防災・減災活動に役立てる。
- 5 講 師 群馬大学理工学研究院教授 片 田 敏 孝 先生
群馬県立小児医療センター新生児科医師 丸 山 憲 一 先生
- 6 日 程 13：30 講演会開始
主催者挨拶
13：35 講演開始（講師紹介を含む）片田先生
14：25 質疑応答
14：35 講演終了
(休 憩)
14：45 講演開始（講師紹介を含む）丸山先生
15：35 質疑応答
15：45 講演会終了
- 7 主 催 一般社団法人群馬大学工業会
群馬大学医学部同窓会・刀城クラブ
- 8 共 催 群馬大学教育学部同窓会
- 9 後 援 群馬県救急医療懇談会
上毛新聞社

3) その他

福田会報編集委員長から、本日の役員会資料を入れたクリアファイルは、会報編集委員会で執筆依頼、校正等お願いする際にしるし用に作成したもので、裏面のスケッチは、編集委員の星野綾美先生のスケッチです。以上報告いたします。

次回役員会

平成26年7月25日(木)

19:00～

[刀城会館]